

講演申込ならびに発表の要領

1. 講演内容

鉄鋼の学術・技術に直接関連があるオリジナルな発表。講演申込書裏面記載の中分類項目から内容に即した順に最大3個まで選んで申込書該当欄に記入してください。

2. 講演申込資格

講演発表者は本会会員に限ります。非会員で発表を希望する方は、所定の入会手続きを済ませた上で、講演申込をしてください。また共著者の半数以上を会員としてください。

3. 講演申込数の制限

講演発表は一人につき3件以内とします(できるだけ1件にしてください)。一大会で連続して発表できる同一主題の連報は3件までとします。

4. 申込方法

前ページに掲げた必要書類①~⑤全てに必要事項を漏れなく記入の上、まとめて下記8の申込先宛に書留で締切期限(平成8年1月11日(木)17時)に間に合うよう送付または持参してください。締切後は、いかなる理由でも受け付けられません。

5. 申込受付

(1) 必要書類の完備した講演申込には、受付通知を申込者に送付します。締切日より1週間経過後も受付通知はがきが未着の場合は、下記8の問合せ先まで連絡してください。

(2) 次のような申込は受け付けません。a. 締切期限の時点で必要書類不備および必要事項不記載の場合、b. 所定の講演申込書あるいは講演概要原稿用紙を使用しない場合、c. 規定の書類によらない文書、電話、ファクシミリによる申込、d. 印刷効果上不適当な原稿(鉛筆書き、不明瞭な文字や図など)。

(3) 受付後の申込内容および原稿の修正は、講演大会協議会の査読結果の修正指示による以外、一切認めません。またプログラム編成後、一旦受けた講演申込の取下げはできません。

6. 講演プログラム

講演プログラムは締切後10日以内に編成されます。決定したプログラムは会報「ふえらむ」、Vol.1、No.3(平成8年3月号)に付録として添付されます。さらに大会当日配付の「材料とプロセス」に掲載されます。

7. 講演発表

一講演につき発表時間は15分、質疑討論時間5分で、OHPのみ使用可能です。やむを得ない講演発表者の変更は速やかに下記8宛通知してください(代理発表者は会員資格のある共著者に限ります)。発表者は当日、講演プログラム記載の時間帯20分前には当該会場に在室してください。

8. 申込・問合せ先

(社)日本鉄鋼協会 編集・業務グループ 講演大会係

〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 TEL (03)3279-6022(代) FAX (03)3245-1355

新刊予約案内

溶接用鋼の疲労強度向上に関する基礎検討

基礎研究会 高強度鋼板の疲労強度向上研究部会
●A4判 約200頁 平成7年11月発行予定

本書では疲労強度の支配因子を網羅し、その影響度合を解析すると共に、その向上策として行われた、セパレーション化、溶接金属の変態膨張と低ヤング率化、残留応力のコンプレッション化の実験結果を紹介している。疲労強度向上の新しい指針を提供している。

【目次】

委員名簿

はじめに

1. 疲労強度向上に対する従来の研究概要

1.1 通常材の疲労強度に関する研究

1.2 母材の冶金学的方策による疲労強度向上対策

1.3 溶接後の後処理による疲労強度向上対策

2. 引張残留応力下での冶金学的強化モデルの疲労寿命変化シミュレーション

3. 線上加熱による残留応力低下手法とそれによる疲労強度変化

4. 変形を利用した残留応力低下手法の検討

4.1 鋼材成分による残留応力の変化

4.2 溶接材料による残留応力の変化

4.3 溶接施工と諸因子による残留応力の変化

4.4 疲労強度試験とその結果

5. 低ヤング率溶材を用いた継手疲労強度改善効果

6. マイクロセパレーションによる疲労強度向上の可能性

7. 結論

あとがき

付録A 疲労き裂伝播シミュレーションモデル

予約締切 平成7年11月15日(水)

((予約特価)) 会員4,000円 非会員5,000円 (消費税、送料本会負担)

*氏名、会員番号、請求書の有無、請求先、会社名、所属、電話番号、送本先住所、郵便振替用紙の控えを添付の上、日本鉄鋼協会 生産技術部門事務局部会担当グループ 澤田宛にFAXにてお申し込み下さい。(TEL(03)3279-6022(代)/FAX(03)3245-1355)

((予約期間終了後)) 会員価格5,000円 定価6,000円 (消費税、送料本会負担)

*日本鉄鋼協会学会部門事務局 刊行物管理グループ 林宛にお申し込み下さい。(TEL(03)3279-6022(代)/FAX(03)3245-1355)